

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮

曹洞宗関係雑誌記事分類目録稿(3)

熊 本 英 人

本稿は、曹洞宗関係の及び仏教関係の新聞雑誌にみる主張、議論等から、曹洞宗教団の志向、僧侶の思潮を探ることを目的とするものであり、そのための、記事内容による分類目録である。(1)『曹洞宗研究員研究紀要』第29号(1998年12月)、(2)『駒澤大学仏教学部研究紀要』第60号(2002年3月)の続稿にあたるものである。

本目録では、『洞上公論』を取り上げる。

『洞上公論』は、大正一四年一月三〇日、永平寺系の宗会議員を中心とした「懇話会」が創刊したもので、菊倍版、平均8頁の月刊紙である。発行は洞上公論社(東京市芝区西久保町二番地)、発行編輯兼印刷人は成田大兆で、その中心となったのは来馬琢道であった。

既に述べたとおり⁽¹⁾、『洞上公論』の創刊によって、『宗教時報』は總持寺系の色づけをなされたが、『宗教時報』は中立を主張している。そして、後に紹介する、總持寺系公正会の『公正』が、『洞上公論』より半年後に創刊されたことによって、両本山それぞれの代表的意見紙が出揃うこととなる。

この時期の宗門の動静として、前回にも触れたとおり、正信論争と、大本山總持寺および大雄山最乗寺(神奈川県)の後住問題がある。

正信論争については、『宗教時報』同様、『洞上公論』紙上でも、論争への直接参加的論放は少ないが、正信論争を背景として出てきたであろう教学論なども含め、正信論争の項に加えた。

また、これも別稿で論じるが、この時期、原田祖岳は僧堂教育についての意見を『洞上公論』や他誌でも積極的に発表しており、正信論争の背景には、宗門徒弟の学校教育と僧堂教育との問題があったことが推測できる。

最乗寺後住問題については、總持寺系の問題でもあり、積極的に論じられてはいないが、本山貫首選挙とも関連して、宗門全体の関心事となっている。

『洞上公論』と『公正』との論点や指向性などの対比については、別稿で改めて論じるが、全体的に見れば、少なくとも紙面上では大きな対立を現わしているわけではない。

(30)

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮（熊本）

記事の分類は、前回と同様、大きく分けて、1.宗門行政・制度、2.教団構成、3.教育・布教教化、4.資料その他とし、その中をさらに、1(1)宗憲、(2)宗制、(3)両本山、(4)貫首選挙、(5)宗政、(6)財政、(7)議会、(8)選挙、(9)服制、(10)宗教法、(11)社会、(12)宗勢時評、2(13)僧侶、(14)尼僧、(15)寺族、3(16)僧堂、(17)大学、(18)教育、(19)教化、(20)軍隊布教、4(21)人物評、(22)遠忌、(23)史料、(24)その他、(25)正信論争、の24に細分化している。

表記は、論題、執筆者名（筆名を含む）、掲載号、発行年月（T.は大正、S.は昭和）の順とし、分類ごとに、執筆者別・刊行順に排列した。

注

(1) 拙稿『『洞上公論』と『公正』』、『曹洞宗宗学研究所紀要』第11号、1997年10月参照。

曹洞宗関係雑誌記事分類目録稿（3）

大正14年1月～昭和4年12月：『洞上公論』（1）

1. 宗門行政・制度

(1) 宗憲

告諭及宗達の宗憲違乱	荒磯浪人	洞上公論44	S.3.8
宗憲宗法の内容充実を図れ	金沢文雄	洞上公論51	S.4.3

(2) 宗制

大宗務所反対の烽火		洞上公論7	T.14.7
大宗務所制度の恩恵		洞上公論8	T.14.8
曹洞宗宗制調査会に対する吾人の要求			
	荒木磯天	洞上公論38	S.3.2
宗務所制度の実績を顧みて	内田吟龍	洞上公論57	S.4.9
愚劣なる管長別置制と総務公選論	厩橋紅雲	洞上公論29	S.2.5
宗制調査会に就て	義満玄機	洞上公論40	S.3.4
貫首管長別置問題	来馬琢道	洞上公論4	T.14.4
宗門の司法権を如何	来馬琢道	洞上公論9	T.14.9
伝法令の徹底を望む	来馬琢道	洞上公論14	T.15.2
寺院争議審判の私案	来馬琢道	洞上公論53	S.4.5
宗務院職員の議員を兼ねるを禁ぜよ			
	黒島弘禅	洞上公論4	T.14.4
授戒会法令の發布を望む	柴田普門	洞上公論16	T.15.4
宗制調査会を難ず	清水文雄	洞上公論39	S.3.3
宗制調査会評	縦横生	洞上公論36	S.2.12
時論二題	城山刀水	洞上公論5	T.14.5
所謂職制問題	千葉天寧	洞上公論42	S.3.6
宗務所制度に就て	根岸義展	洞上公論22	T.15.10
背任者糾弾の法規を制定せよ	前沢祖光	洞上公論56	S.4.8
宗務所制度の実施に就て	吉村雄鳳	洞上公論2	T.14.2
悪政事実録	渡辺静兮	洞上公論6	T.14.6
悪政事実録（続）	渡辺静兮	洞上公論8	T.14.8

(3) 両本山

両山盟約の問題		洞上公論4	T.14.4
両本山盟約の基本たる大蔵省演達		洞上公論5	T.14.5
故上野西堂本山葬集報		洞上公論18	T.15.6
総持寺御董貫首選挙投票開緘と其の結果		洞上公論38	S.3.2
未派運動史を読む		洞上公論56	S.4.8
『公正』第三十号を読むで得たる感想			
	岩本貫孝	洞上公論38	S.3.2
本山の反省を求む	岩本宗国	洞上公論3	T.14.3
監院の任免と其権限	来馬琢道	洞上公論23	T.15.11
本山財政の公開	来馬琢道	洞上公論46	S.3.10
新時代における布教の対機	児玉祖虔	洞上公論17	T.15.5
両本山派出布教論	城山刀水	洞上公論15	T.15.3
『公正』の小言小語先生に	城山刀水	洞上公論18	T.15.6
越山愛護の最高使命(1)	谷口生	洞上公論13	T.15.1
越山愛護の最高使命(続)	谷口生	洞上公論15	T.15.3
曹洞宗両大本山別院沿革史	水上興基	洞上公論18	T.15.6
争ひから争ひへ	山陰昇龍	洞上公論4	T.14.4
宗門の思想問題	横川良田	洞上公論39	S.3.3

(4) 貫首選挙

紫雲台を繞る陰謀派と陽謀派	附、最乗寺を能山貫首の候補地と		
心得るは宗憲違反	厩橋紅雲	洞上公論42	S.3.6
奇々怪々な最乗寺住職問題の真相	局外生	洞上公論46	S.3.10
貫首選挙の過去と将来	来馬琢道	洞上公論37	S.3.1
貫首任期年限制度の研究	来馬琢道	洞上公論43	S.3.7
新貫首と新気運	来馬琢道	洞上公論59	S.4.11
無慚無愧を如何せん	寺田有禅	洞上公論44	S.3.8
秋野孝道氏を推薦す	洞上公論社同人	洞上公論59	S.4.11
天意人語録	刀水生	洞上公論45	S.3.9
奇怪なる新井禅師の御遺言書	宮田無全	洞上公論43	S.3.7

(5) 宗政

特任宗務所長の辞任		洞上公論7	T.14.7
-----------	--	-------	--------

所謂政党運動の可否に関する問答	洞上公論12	T.14.12
山形宗務所会流血の真相	洞上公論13	T.15.1
東京宗務所会の実況	洞上公論13	T.15.1
新任宗務職員の出揃	洞上公論15	T.15.3
新潟宗務所長問題の其後	洞上公論17	T.15.5
東京宗務所長問題の其後	洞上公論17	T.15.5
洞上公論の出現を祝して所感の一端を述ぶ		
	安藤鮮明	洞上公論1 T.14.1
未派の実生活に触れよ	安藤鮮明	洞上公論22 T.15.10
来馬君の「口約問題」に就て	奥村道麟	洞上公論7 T.14.7
宗門地方自治の要諦	金沢文雄	洞上公論34 S.2.10
宗務職員の口約問題	来馬琢道	洞上公論6 T.14.6
中央集権か地方分権か	来馬琢道	洞上公論7 T.14.7
中央集権か地方分権か（続）	来馬琢道	洞上公論8 T.14.8
宗政上の地位を重視せよ	来馬琢道	洞上公論13 T.15.1
両頭政治と法規尊重の観念	来馬琢道	洞上公論17 T.15.5
宗務職員の欠陥を防ぐ道如何	来馬琢道	洞上公論18 T.15.6
宗門統治の責任者は誰ぞ	来馬琢道	洞上公論21 T.15.9
宗門最近の問題（第三十次宗会を前にして）		
	来馬琢道	洞上公論22 T.15.10
第三十次宗会の五大疑問	来馬琢道	洞上公論24 T.15.12
宗務当局辞任の理由如何	来馬琢道	洞上公論25 S.2.1
参事会問題批判	来馬琢道	洞上公論26 S.2.2
宗務職員更迭の意義	来馬琢道	洞上公論27 S.2.3
両頭政治打破の策ありや	来馬琢道	洞上公論31 S.2.7
地方宗務職員の自重を望む（教区長經由手続一部廃止の答申に就いて）		
	来馬琢道	洞上公論32 S.2.8
宗務院の二大失態 一は立法の精神を誤り一は宗法の明文を紊る		
	来馬琢道	洞上公論33 S.2.9
宗務院部長の責任を論ず	来馬琢道	洞上公論35 S.2.11
宗政を合法化せよ	来馬琢道	洞上公論40 S.3.4
総括的責任と部分的責任（総務と部長、貫首と執事の職責に就て）		
	来馬琢道	洞上公論42 S.3.6
宗務員職制問題と僕	黒島弘禅	洞上公論1 T.14.1
宗務院職員議員兼任は断じて不可		

(34)

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

	黒島弘禅	洞上公論7	T.14.7
常識あるものの言なりや	佐藤大麟	洞上公論25	S.2.1
宗務所長会議と題しての興村君の言論を読む			
	昭和生	洞上公論31	S.2.7
宗務院職員及本山職員の議員兼任の可否			
	城山刀水	洞上公論8	T.14.8
財務の危機	寸鉄生	洞上公論16	T.15.4
宗務所制度に対する素人の一考察	高田良三	洞上公論35	S.2.11
法規違反の取扱及び協賛権の蹂躪に就て(当局の責任を問う)			
	谷口虎山	洞上公論40	S.3.4
当局の無責任と宗会の無能	谷口虎山	洞上公論41	S.3.5
両頭政治とその系統の向背	千葉天寧	洞上公論25	S.2.1
宗門政治の一大使命	千葉天寧	洞上公論30	S.2.6
宗務所制度の還元	妻沼子山	洞上公論47	S.3.11
宗務所制度実施第一周年	刀水生	洞上公論20	T.15.8
宗務所長協議会	刀水生	洞上公論31	S.2.7
宗務所長会議に就て	西村元信	洞上公論31	S.2.7
新潟宗務所会の不始末	根岸玄指	洞上公論11	T.14.11
我等の主張	檜瑞運	洞上公論14	T.15.2
賞罰を論じて宗務当局者の責任に及ぶ(上)			
	渡辺天慶	洞上公論19	T.15.7
賞罰を論じて宗務当局者の責任に及ぶ(下)			
	渡辺天慶	洞上公論20	T.15.8

(6) 財政

農村問題解決の基調		洞上公論2	T.14.2
官有境内地と寺院区整編入		洞上公論5	T.14.5
墓地の区画整理並に移転に関し、区画整理委員と復興局長との問答			
		洞上公論9	T.14.9
大正十五年度各府県宗務所経費並宗費対照表		洞上公論23	T.15.11
寺院の家屋税及び土地賃貸契約問題		洞上公論33	S.2.9
階級査定調査会片々		洞上公論60	S.4.12
宗門の資源調査に就て	安部法猷	洞上公論60	S.4.12
宗政の振興を論じて経費の移譲に及ぶ			
	安藤鮮明	洞上公論10	T.14.10

思想上より観たる小作問題	門脇探玄	洞上公論32	S.2.8
農村寺院の機能と経済政策	門脇探玄	洞上公論36	S.2.12
当局に政治道徳ありや	門脇探玄	洞上公論40	S.3.4
寺院階級査定法調査会の実現（特に農村寺院の奮起を促す）			
	門脇探玄	洞上公論52	S.4.4
宗費賦課率改正の急務	門脇探玄	洞上公論56	S.4.8
寺院私有の観念を去れ	来馬琢道	洞上公論39	S.3.3
寺院階級査定の一考察	来馬琢道	洞上公論58	S.4.10
俗人から見た本寺末寺	佐野間龍童	洞上公論8	T.14.8
農村寺院を脅かす小作問題の研究（1）			
	佐野間龍童	洞上公論35	S.2.11
農村寺院を脅かす小作問題の研究（2）			
	佐野間龍童	洞上公論37	S.3.1
農村寺院を脅かす小作問題の研究（3）			
	佐野間龍童	洞上公論38	S.3.2
農村寺院を脅かす小作問題の研究（4）			
	佐野間龍童	洞上公論41	S.3.5
農村寺院を脅かす小作問題の研究（5）			
	佐野間龍童	洞上公論43	S.3.7
農村寺院を脅かす小作問題の研究（6）			
	佐野間龍童	洞上公論44	S.3.8
農村寺院を脅かす小作問題の研究（7）			
	佐野間龍童	洞上公論45	S.3.9
農村寺院を脅かす小作問題の研究（8）			
	佐野間龍童	洞上公論48	S.3.12
農村寺院を脅かす小作問題の研究（9）			
	佐野間龍童	洞上公論49	S.4.1
農村寺院を脅かす小作問題の研究（10）			
	佐野間龍童	洞上公論54	S.4.6
農村寺院を脅かす小作問題の研究（11）			
	佐野間龍童	洞上公論55	S.4.7
農村寺院を脅かす小作問題の研究（11）			
	佐野間龍童	洞上公論58	S.4.10
末寺は大に警戒せよ	崇東道人	洞上公論4	T.14.4
自作農免税に対し宗門当局に熱望す			

	大尾生	洞上公論15	T.15.3
階級査定調査会漫評	高田良三	洞上公論54	S.4.6
緊縮政策と宗門の施政	高田良三	洞上公論60	S.4.12
農村寺院の救済と等級査定の改正を望む			
	千葉天寧	洞上公論32	S.2.8
都市寺院の悩み	統玉麟	洞上公論57	S.4.9
宗教現象の経済的観察	永久俊雄	洞上公論7	T.14.7
宗教現象の経済的観察(続)	永久俊雄	洞上公論8	T.14.8
法資の着眼点 果実本位の利殖法	永久俊雄	洞上公論10	T.14.10
寺院に関する二問題	服部賢成	洞上公論3	T.14.3
寺院の財源涵養に就て	寺院関係者は速に其方法を講ぜられよ		
	服部賢成	洞上公論30	S.2.6
財務合併の声	渡辺見道	洞上公論17	T.15.5

(7) 議会

宗会彙報		洞上公論12	T.14.12
宗会記事		洞上公論23	T.15.11
第三十次曹洞宗宗会	舞台上に上れる悲喜劇	洞上公論24	T.15.12
第三十一次宗会彙報		洞上公論35	S.2.11
第三十一次宗会彙報(続)		洞上公論36	S.2.12
第三十二次宗会彙報		洞上公論39	S.3.3
第三十二次宗会彙報(続)		洞上公論40	S.3.4
懇話会の宗会に対せし態度		洞上公論40	S.3.4
第三十二次宗会彙報		洞上公論40	S.3.4
高階議長の弁妄は妄の極	附、議事録改竄の責任問題		
		洞上公論43	S.3.7
第三十三次宗会彙報		洞上公論51	S.4.3
第三十三次宗会彙報(承前)		洞上公論52	S.4.4
宗会雑感	安部法猷	洞上公論40	S.3.4
質問と釈明に就ての管見	安部法猷	洞上公論53	S.4.5
宗会の議決を尊重せよ	荒木磯天	洞上公論50	S.4.2
嘘で固めた祥雲部長の答弁	植村仙崖	洞上公論3	T.14.3
宗会雑感	厩橋紅雲	洞上公論24	T.15.12
所謂私の発言に就て	附、宗会と議長の態度		
	門脇探玄	洞上公論45	S.3.9

寧ろ宗会を廃止せよ	金沢文雄	洞上公論31	S.2.7
洞宗宗会の特色	来馬琢道	洞上公論3	T.14.3
宗会の精励と未派の監視	来馬琢道	洞上公論11	T.14.11
臨時宗会の招集を難ず	来馬琢道	洞上公論34	S.2.10
臨時宗会の功過一斑	来馬琢道	洞上公論36	S.2.12
宗会の回顧	来馬琢道	洞上公論41	S.3.5
矢萩君の意見の批判	来馬琢道	洞上公論41	S.3.5
新総務第一の行願	来馬琢道	洞上公論50	S.4.2
第三十三次宗会の回顧	来馬琢道	洞上公論52	S.4.4
宗会の開期と宗務所問題	来馬琢道	洞上公論57	S.4.9
第二十九次宗会を評す	黒島弘禅	洞上公論13	T.15.1
傍聴席から	生	洞上公論12	T.14.12
宗会に対する感想	柴田得雲	洞上公論40	S.3.4
不満なる当局の答弁	清水文雄	洞上公論40	S.3.4
第三十二次曹洞宗会を終り全選挙区内寺院諸師に告ぐ			
	宗会議員	洞上公論40	S.3.4
臨時宗会所感の回顧	高田良三	洞上公論37	S.3.1
賊過後の張弓	高田良三	洞上公論40	S.3.4
来るべき宗会の問題	洞上公論社同人	洞上公論11	T.14.11
宗会雑感	刀水生	洞上公論36	S.2.12
宗会雑感	刀水生	洞上公論40	S.3.4
公論誌上を藉りて一言す	矢萩賢宗	洞上公論41	S.3.5
質問と答弁	横川良田	洞上公論40	S.3.4

(8) 選挙

選挙の祟(4)		洞上公論7	T.14.7
選挙の祟(5)		洞上公論9	T.14.9
第十区、第十一区宗会議員当選人決定す		洞上公論33	S.2.9
第十区選挙余聞		洞上公論34	S.2.10
第十区選挙訴願後聞		洞上公論35	S.2.11
第十一区宗会議員選挙異議申立の決裁		洞上公論49	S.4.1
没常識の教区長に依りて誤られたる我が地方選挙界			
	朝熊山人	洞上公論31	S.2.7
宗弊革新の第一義 特に宗会議員の選挙に直面して			
	厩橋紅雲	洞上公論28	S.2.4

(38) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

特選議員の推薦に就て	厩橋紅雲	洞上公論30	S.2.6
所長候補者選挙の権限	大石俊一	洞上公論58	S.4.10
新選挙法並に施行規則の欠陥	宗務院参事会及宗会の不熱心を買む		
	来馬琢道	洞上公論29	S.2.5
法を尊び法を恐れよ(宗会議員選挙雑感)			
	来馬琢道	洞上公論30	S.2.6
辞職議員の立候補を批判す	甲乙丙丁	洞上公論28	S.2.4
宗会議員選挙界の鳥瞰	先天子	洞上公論28	S.2.4
宗会議員選挙界の推移	先天子	洞上公論29	S.2.5
候補者の怒より 特に有権者各位へ			
	谷口生	洞上公論29	S.2.5

(9) 服制

(10) 宗教法

宗教法制定の前提として神社法規の統一		洞上公論6	T.14.6
宗教法案に対する非難		洞上公論13	T.15.1
二十年振りに浮び出た宗教法案の要綱		洞上公論13	T.15.1
勝田文相と仏聯幹事(宗教法案を思想善導問答)		洞上公論44	S.3.8
祥雲宗調委員の所論に就て	稲田法学	洞上公論21	T.15.9
宗教法案瑣談	来馬琢道	洞上公論19	T.15.7
教団の機能を發揮せよ	来馬琢道	洞上公論55	S.4.7
宗教法規摘要	高山自宝	洞上公論1	T.14.1
国有財産法句義略解	高山自宝	洞上公論10	T.14.10
宗教に理解深き京都府知事	刀水生	洞上公論19	T.15.7

(11) 社会

実際問題としての僧侶参政権		洞上公論2	T.14.2
職業婦人問題		洞上公論2	T.14.2
貴族院に仏教及神道の代表者を入らしむる意見の交換			
		洞上公論4	T.14.4
選挙の祟(1)		洞上公論4	T.14.4
僧侶参政権獲得の内容		洞上公論6	T.14.6
建国の雄叫び		洞上公論14	T.15.2
政談演説会場に本堂貸与の可否		洞上公論34	S.2.10

心の会会館（元天真閣）落成式に列して

	石原憲光	洞上公論11	T.14.11
普通最初の町議に当選して	黒島弘禅	洞上公論55	S.4.7
普選の失敗に懲りて	子山生	洞上公論39	S.3.3
謬見が生む寺檀の葛藤	子山生	洞上公論45	S.3.9
開票種々相	谷口生	洞上公論39	S.3.3
社会運動と宗門の根本問題解決の急務			
	千葉天寧	洞上公論29	S.2.5
社会現象に対する仏教徒の態度	千葉天寧	洞上公論53	S.4.5
日本の根本苦と仏教	永久俊雄	洞上公論14	T.15.2
岐路に立つ仏教	蓮生観善	洞上公論3	T.14.3
東京市長へ建議	仏教連合会本部	洞上公論3	T.14.3
教会是非	慮外生	洞上公論38	S.3.2

（12）宗勢時評

口は重宝		洞上公論7	T.14.7
宗会を前に主事と部長の唯合ひ（例の歓迎会問題）		洞上公論23	T.15.11
愚かな人気取政策		洞上公論33	S.2.9
一優婆塞の宗門観	一優婆塞	洞上公論10	T.14.10
田舎寺院の宗政管見 宗務当局及他の宗政治家の方々に			
	岩本貫孝	洞上公論35	S.2.11
涼み台	川畑やなぎ	洞上公論44	S.3.8
送迎懇談会は追弔会と同視すべからず			
	来馬琢道	洞上公論28	S.2.4
縦論横議を尊重せよ	来馬琢道	洞上公論51	S.4.3
宗門の生気を養ふ道如何	来馬琢道	洞上公論60	S.4.12
時代錯誤の大宗門	小松原国乗	洞上公論1	T.14.1
宗務職員更迭評	生	洞上公論14	T.15.2
歓迎会余談	生	洞上公論23	T.15.11
革新劇の裏と表	J O D K	洞上公論26	S.2.2
農僧毒語（1）	子山生	洞上公論25	S.2.1
農僧毒語（2）	子山生	洞上公論26	S.2.2
憎まれ口	昭和小僧	洞上公論26	S.2.2
縦横録	寸鉄生	洞上公論21	T.15.9
祖恩を思い識見を高うせよ	高木益太郎	洞上公論3	T.14.3

(40)

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

諒闇より黎明へ	千葉天寧	洞上公論37	S.3.1
時事寸評	刀水	洞上公論9	T.14.9
時事偶感	刀水	洞上公論11	T.14.11
惜しい費用	刀水	洞上公論12	T.14.12
滑稽なる取消一対	刀水生	洞上公論27	S.2.3
お臍の宿替	刀水生	洞上公論30	S.2.6
隨筆録	刀水生	洞上公論32	S.2.8
世間と出世間	刀水生	洞上公論34	S.2.10
革新聯盟を葬れ 未派は欺かれた			
	摩利支天	洞上公論26	S.2.2
時事漫評	慮外	洞上公論8	T.14.8
時事漫評	慮外	洞上公論15	T.15.3

2. 教団構成

(13) 僧侶

越後雲洞庵本末紛擾		洞上公論35	S.2.11
某々破廉恥罪の虚実(調査の一斑)		洞上公論45	S.3.9
告訴問題の経緯		洞上公論56	S.4.8
曹洞宗寺院徒弟員数		洞上公論58	S.4.10
所化紹介片々	乙部吞海	洞上公論30	S.2.6
我等の活仏法	K T 生	洞上公論14	T.15.2
曹洞宗を廃して道元宗を興すべし	神保如天	洞上公論6	T.14.6
法式の順応を主張す	中塚周道	洞上公論50	S.4.2
得度式文に代へて新発意に与ふ	茂木無文	洞上公論49	S.4.1
焼打の目標となる寺	山陰昇龍	洞上公論7	T.14.7
観劇所感	山陰昇龍	洞上公論22	T.15.10

(14) 尼僧

尼衆の自覚	木村浄月尼	洞上公論15	T.15.3
尼衆問題解決の一路	来馬琢道	洞上公論10	T.14.10

(15) 寺族

寺族保護法について他		洞上公論3	T.14.3
寺院と寺族に就て	安部法猷	洞上公論42	S.3.6

寺院と寺族に就て（承前）	安部法猷	洞上公論44	S.3.8
寺院と寺族に就て（承前）	安部法猷	洞上公論45	S.3.9
所謂寺族問題	来馬琢道	洞上公論2	T.14.2
寺族保護法に対する今期宗会の収獲	清水文雄	洞上公論53	S.4.5

3. 教育・布教教化

（16）僧堂

師家素質向上の策	来馬琢道	洞上公論54	S.4.6
髑髏寓言録	石橋生	洞上公論9	T.14.9
髑髏寓言録（2）	石橋生	洞上公論11	T.14.11
僧堂教育の振興	青龍虎法	洞上公論45	S.3.9
僧堂教育の振興	青龍虎法	洞上公論46	S.3.10
僧堂教育大改造策（1）	原田祖岳	洞上公論19	T.15.7
僧堂教育大改造策（2）	原田祖岳	洞上公論20	T.15.8
僧堂教育大改造策（3）	原田祖岳	洞上公論21	T.15.9
僧堂教育大改造策（4）	原田祖岳	洞上公論23	T.15.11
僧堂教育大改造策（5）	原田祖岳	洞上公論25	S.2.1
僧堂教育大改造策（完）	原田祖岳	洞上公論27	S.2.3

（17）大学

曹洞宗大学の将来	忽滑谷快天	洞上公論3	T.14.3
----------	-------	-------	--------

（18）教育

大休寺の「吉祥文庫」		洞上公論10	T.14.10
宗門教育私見	足羽雪艇	洞上公論8	T.14.8
寺院と教育	安部法猷	洞上公論47	S.3.11
教育制度の転回期迫る（宗立中学を如何にすべきか）			
	来馬琢道	洞上公論56	S.4.8
宗門教育の叫び	杉岡清道	洞上公論41	S.3.5
本宗中学教育の方針に就て（上）			
	疋田哲仙	洞上公論5	T.14.5
本宗中学教育の方針に就て（下）			
	疋田哲仙	洞上公論6	T.14.6

(42)

大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

信施訓(上)	細川梧蔭	洞上公論16	T.15.4
信施訓(下)	細川梧蔭	洞上公論17	T.15.5
宗門の教育に関する私見	棟方唯一	洞上公論5	T.14.5
宗門の教育に関する私見(2)	棟方唯一	洞上公論7	T.14.7
宗門の教育に関する私見	棟方唯一	洞上公論9	T.14.9
宗教家の教育家に対する希望	森覚明	洞上公論13	T.15.1

(19) 教化

不老閣猊下御垂示		洞上公論8	T.14.8
東亜仏教大会日程		洞上公論10	T.14.10
教材 孝子芦田為助翁伝		洞上公論18	T.15.6
黙然必受		洞上公論32	S.2.8
聯合会花まつり大会詳報		洞上公論53	S.4.5
開宗七百年記念大会の実況		洞上公論54	S.4.6
芸術布教の第一歩		洞上公論59	S.4.11
工場布教の新生活	天岡大器	洞上公論35	S.2.11
両施報恩の要旨(上)	伊藤俊道	洞上公論20	T.15.8
両施報恩の要旨(下)	伊藤俊道	洞上公論21	T.15.9
熱の問題	植村仙崖	洞上公論1	T.14.1
仏教大会に就て	岡本賢宗	洞上公論50	S.4.2
化導の要儀(1)	片岡正龍	洞上公論22	T.15.10
化導の要儀(2)	片岡正龍	洞上公論25	S.2.1
化導の要儀(3)	片岡正龍	洞上公論26	S.2.2
化導の要儀(完)	片岡正龍	洞上公論27	S.2.3
宗門布教改造論	門脇探玄	洞上公論33	S.2.9
宗門の教化総動員を論ず	門脇探玄	洞上公論59	S.4.11
古徳を慕ひ真摯に修行せよ(九州巡錫の感)			
	北野元峰	洞上公論4	T.14.4
不老閣猊下新年御垂示	北野元峰	洞上公論13	T.15.1
不老閣猊下御感話 長寿の妙訣(石黒子爵と老衲)			
	北野元峰	洞上公論37	S.3.1
不老閣猊下新年御垂示 願心と報恩			
	北野元峰	洞上公論49	S.4.1
宗門儀式研究の一端	来馬琢道	洞上公論11	T.14.11
仏教劇涅槃の直後 一幕二場	来馬琢道	洞上公論15	T.15.3

仏教劇涅槃の直後 一幕二場（続）

	来馬琢道	洞上公論16	T.15.4
のびゆくこの様	心の会	洞上公論53	S.4.5
授戒会雑感	佐野間龍童	洞上公論13	T.15.1
食事訓（上）	鈴木天山	洞上公論9	T.14.9
食事訓（下）	鈴木天山	洞上公論10	T.14.10

門脇探玄師の宗門布教改造論を讀で

	高橋良観	洞上公論36	S.2.12
物質観の革命	田中龍夫	洞上公論1	T.14.1
寒宵丙丁茶話（1）	中幡義堂	洞上公論15	T.15.3
寒宵丙丁茶話（2）	中幡義堂	洞上公論16	T.15.4
寒宵丙丁茶話（3）	中幡義堂	洞上公論17	T.15.5
礼一拝 儀式統制のために	中幡義堂	洞上公論55	S.4.7
真の人間（上）	弘津説三	洞上公論41	S.3.5
真の人間（下）	弘津説三	洞上公論42	S.3.6
舍利礼文些便	福山黙童	洞上公論19	T.15.7
青年子女の教導	藤村平信	洞上公論17	T.15.5
布教話材 義人井戸明府（一名甘藷代官）	細川梧蔭	洞上公論6	T.14.6

証悟の宗教と祈祷の宗教（洗心会信仰座談）

	細川梧蔭	洞上公論33	S.2.9
宗門の布教に就て	山陰昇龍	洞上公論1	T.14.1
宗門の布教に就て（承前）	山陰昇龍	洞上公論2	T.14.2
布教恐慌来	山陰昇龍	洞上公論18	T.15.6
発願文講話	山田孝道	洞上公論1	T.14.1
発願文講話（続）	山田孝道	洞上公論2	T.14.2
発願文講話（続）	山田孝道	洞上公論3	T.14.3
永平法語講話	山田孝道	洞上公論11	T.14.11
永平法語講話（続）	山田孝道	洞上公論12	T.14.12
永平法語講話（続）	山田孝道	洞上公論13	T.15.1
永平法語講話（続）	山田孝道	洞上公論14	T.15.2
永平法語講話（続）	山田孝道	洞上公論15	T.15.3
宗祖聖訓 生死解脱	吉村雄鳳	洞上公論7	T.14.7
宗祖聖訓 深信因果	吉村雄鳳	洞上公論18	T.15.6
宗祖聖訓三帰の正儀	吉村雄鳳	洞上公論23	T.15.11

(44) 大正・昭和初期の曹洞宗の宗勢とその思潮(熊本)

宗祖聖訓感應道交	吉村雄鳳	洞上公論28	S.2.4
宗祖聖訓正伝の大戒	吉村雄鳳	洞上公論32	S.2.8
坐禅箴講話	若生国栄	洞上公論4	T.14.4
坐禅箴講話(続)	若生国栄	洞上公論5	T.14.5
黄檗希運示衆	若生国栄	洞上公論30	S.2.6
布教統一の請願書(今次宗会に対して)	渡辺画仙	洞上公論39	S.3.3

(20) 軍隊布教

正依安心の統一を望む	片岡正龍	洞上公論19	T.15.7
再び正依安心の統一に就て	片岡正龍	洞上公論21	T.15.9
一軍人の仏国宗教観	松岡船等喩	洞上公論24	T.15.12

4. 資料その他

(21) 人物評

三名物男		洞上公論4	T.14.4
杉本禅師の事ども		洞上公論59	S.4.11
上杉本道山禅師書	荒木礪天	洞上公論44	S.3.8
噫玉田仁齡老師	岩井達道	洞上公論16	T.15.4
新教学部長保坂真哉君に寄す	厩橋紅雲	洞上公論25	S.2.1
佐藤実英老師を哀悼す	甲賀良海	洞上公論48	S.3.12
佐藤実英老師を哀悼す(続)	甲賀良海	洞上公論49	S.4.1
洞上俳壇の選者 仏子露影師	三南	洞上公論38	S.3.2
煙草を吹きつつ	芝園閑人	洞上公論60	S.4.12
噫第四中学林長古橋祖孝師	寂庵	洞上公論20	T.15.8
宗会議員糟谷大修君を惜む	刀水生	洞上公論16	T.15.4

(22) 遠忌

謎の正体		洞上公論6	T.14.6
いよいよ帝国劇場に道元禅師の劇の上演		洞上公論57	S.4.9
勅額奉戴並に大遠忌所感	来馬琢道	洞上公論5	T.14.5
越山二代遠忌に就て	深山信教	洞上公論17	T.15.5
祖山拜登記	無文生	洞上公論47	S.3.11

（23）史料

禅宗史の問題（忽滑谷師の博士論文）	洞上公論2	T.14.2	
新井石禅師全集の発刊	洞上公論57	S.4.9	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（1）			
大久保道舟	洞上公論19	T.15.7	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（2）			
大久保道舟	洞上公論20	T.15.8	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（3）			
大久保道舟	洞上公論22	T.15.10	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（4）			
大久保道舟	洞上公論23	T.15.11	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（5）			
大久保道舟	洞上公論25	S.2.1	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（6）			
大久保道舟	洞上公論26	S.2.2	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（7）			
大久保道舟	洞上公論27	S.2.3	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（8）			
大久保道舟	洞上公論28	S.2.4	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（9）			
大久保道舟	洞上公論33	S.2.9	
永平寺門下に於ける嗣法論争の梗概と其の批判（10）			
大久保道舟	洞上公論35	S.2.11	
伊藤道海師著『常済大師御伝記』の矛盾と捏造を剔抉して其の責任を質す（1）			
岡魁天	洞上公論16	T.15.4	
伊藤道海師著『常済大師御伝記』の矛盾と捏造を剔抉して其の責任を質す（2）			
岡魁天	洞上公論17	T.15.5	
伊藤道海師著『常済大師御伝記』の矛盾と捏造を剔抉して其の責任を質す（3）			
岡魁天	洞上公論18	T.15.6	
伊藤道海師著『常済大師御伝記』の矛盾と捏造を剔抉して其の責任を質す（4）			
岡魁天	洞上公論19	T.15.7	
伊藤道海師著『常済大師御伝記』の矛盾と捏造を剔抉して其の責任を質す（5）			
岡魁天	洞上公論20	T.15.8	
手紙に代へて	倉光活文	洞上公論21	T.15.9

永平高祖江西行脚猛虎図に就て	佐藤鉄額	洞上公論21	T.15.9
面山和尚と正法眼蔵(1)	永久岳水	洞上公論22	T.15.10
面山和尚と正法眼蔵(2)	永久岳水	洞上公論23	T.15.11
面山和尚と正法眼蔵(3)	永久岳水	洞上公論25	S.2.1
面山和尚と正法眼蔵(完)	永久岳水	洞上公論27	S.2.3
北野貫首禅師御行状記(1)	細川道契	洞上公論37	S.3.1
北野貫首禅師御行状記(2)	細川道契	洞上公論38	S.3.2
高祖御伝記書類の研究	横関了胤	洞上公論31	S.2.7
或問に答ふ	横関了胤	洞上公論32	S.2.8
琢宗禅師の前半生(1)	横関了胤	洞上公論44	S.3.8
琢宗禅師の前半生(2)	横関了胤	洞上公論45	S.3.9
琢宗禅師の前半生(3)	横関了胤	洞上公論46	S.3.10
琢宗禅師の前半生(4)	横関了胤	洞上公論47	S.3.11
琢宗禅師の前半生(5)	横関了胤	洞上公論48	S.3.12
琢宗禅師(6)	横関了胤	洞上公論49	S.4.1
琢宗禅師(7)	横関了胤	洞上公論51	S.4.3
琢宗禅師(8)	横関了胤	洞上公論52	S.4.4
琢宗禅師(9)	横関了胤	洞上公論53	S.4.5
琢宗禅師(10)	横関了胤	洞上公論54	S.4.6
琢宗禅師(11)	横関了胤	洞上公論55	S.4.7
琢宗禅師(12)	横関了胤	洞上公論56	S.4.8
琢宗禅師(13)	横関了胤	洞上公論57	S.4.9
琢宗禅師(14)	横関了胤	洞上公論58	S.4.10
琢宗禅師(15)	横関了胤	洞上公論59	S.4.11
琢宗禅師(16)	横関了胤	洞上公論60	S.4.12

(24) その他

閑人閑話		洞上公論1	T.14.1
発行の辞		洞上公論1	T.14.1
「仏教経済研究観」の論文募集		洞上公論16	T.15.4
真如寺に靈仏現はる		洞上公論57	S.4.9
中華民国仏教代表者歓迎文	安藤鮮明	洞上公論14	T.15.2
天洋丸より	石原憲光	洞上公論58	S.4.10
北海道琵琶行脚	大辻空山	洞上公論46	S.3.10
北海道琵琶行脚(続)	大辻空山	洞上公論47	S.3.11

懐旧録	如風生	洞上公論35	S.2.11
漫篇秋色桜	広瀬宕外	洞上公論27	S.2.3
偶感	樋渡花笠生	洞上公論42	S.3.6
夢幻劇	門左衛門	洞上公論37	S.3.1
『夢幻劇』に就て	門左衛門	洞上公論38	S.3.2
湘南遊記	吉村竹友	洞上公論33	S.2.9

（25）正信論争

希望のかずかず	飯島富一郎	洞上公論57	S.4.9
正信問題に対する私の態度	井上耕哉	洞上公論49	S.4.1
原田祖岳老師に問ふ	大沢良光	洞上公論47	S.3.11
宗風統一の第一歩	来馬琢道	洞上公論48	S.3.12
修証に就ての論理的考察	青龍虎法	洞上公論49	S.4.1
修証に就ての論理的考察（2）	青龍虎法	洞上公論50	S.4.2
修証に就ての論理的考察（3）	青龍虎法	洞上公論52	S.4.4
修証に就ての論理的考察（4）	青龍虎法	洞上公論53	S.4.5
修証に就ての論理的考察（4）	青龍虎法	洞上公論54	S.4.6
道元禅師行判序説	青龍虎法	洞上公論55	S.4.7
道元禅師の行判序説（2）	青龍虎法	洞上公論56	S.4.8
道元禅師の行判序説（3）	青龍虎法	洞上公論58	S.4.10
道元禅師の行判序説（4）	青龍虎法	洞上公論59	S.4.11
道元禅師の行判序説（5）	青龍虎法	洞上公論60	S.4.12
宗門安心問題と当局の態度	千葉天寧	洞上公論34	S.2.10
仏法は唯生死去来を浄化するにあり			
	原田祖岳	洞上公論50	S.4.2
『星華』に対する批評の反駁	茂木無文	洞上公論46	S.3.10
正法を明めて正法の印証を得るにあり			
	安谷量衡	洞上公論51	S.4.3
駆除すべき獅虫	米本賢瑞	洞上公論46	S.3.10
宗意安心の危機	米本賢瑞	洞上公論47	S.3.11
御教書	渡辺画仙	洞上公論43	S.3.7
宗体と宗用を論ず	渡辺画仙	洞上公論48	S.3.12